

「キリストの恵み」

(ヨブ記 19章 25-26節、テサロニケの信徒への手紙— 5章 28節)

1、恵みに始まり、恵みに終わる

「ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです」 ローマの信徒への手紙 3章 24節

2、テサロニケの信徒への手紙における恵み

3、恵みという概念の完成者パウロ

「恵み」 ギリシャ語 (カリス)

「わたしは、神の教会を迫害したのですから、使徒たちの中でもいちばん小さな者であり、使徒と呼ばれる値打ちのない者です。神の恵みによって今日のわたしがいるのです。そして、わたしに与えられた神の恵みは無駄にならず、わたしは他のすべての使徒よりずっと多く働きました。しかし、働いたのは、実はわたしではなく、わたしと共にある神の恵みなのです」
コリントの信徒への手紙— 15章 9-10節

「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。・・・わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである」
ヨハネによる福音書 1章 14-17節

4、恵みを受け取る

